



## 編集雑記

## 既刊案内 (特集・主要記事)

### [12月号]

◎[シリーズ 次代を担う衛生・環境工学者 No.85] 同志社大学理工学部 環境システム学科 教授 赤尾聡史氏を訪ねて 有機性廃棄物の資源化・付加価値創造を模索…水道ネットワーク通信・有村源介 ◎日本政府によるウクライナ・インフラ支援 日本原料(株)の「モバイルシフォンタック」4基を現地に運転研修で4人が来日高萩工場で技術習得…水道ネットワーク通信・有村源介 ◎全管連 水道行政移管に対応 全国で要望活動展開…月刊コア編集部 ◎五十嵐氏(全管連副会長、東管協組理事長)等に厚生大臣大臣表彰…月刊コア編集部 ◎富士機材 盛大にアルカ・デ・フェスタ開催 東北グループ3社が結束…月刊コア編集部 ◎KVK 会員400名が集い盛大に全国大会 一層の拡販へ結束を固める…月刊コア編集部 ◎冬季の省エネルギーの取組について…省エネルギー・省資源対策推進会議省庁連絡会議決定◎令和4年建設業活動実態調査の結果…国土交通省 ◎「新たな循環型社会形成推進基本計画の策定のための具体的な指針」(中央環境審議会意見具申)について…環境省 ◎空き家等を改修してセーフティネット住宅とする事業者を支援します！…国土交通省◎令和4年度末の汚水処理人口普及状況について…国土交通省◎[ニュースファックス]橋本管機連会長に旭日小綬章 松本全管連理事ら旭双の栄誉/令和5年度「生活衛生事業功労者(水道関係功労者)」に表彰状 春田満雄氏(前澤工業(株))、池田和隆氏(株)アンドオン)ら ◎[PRESS RELEASE]工学研究員の北島正章准教授が選出 ◎[明日への道標] 労を惜みず努力する一ウエッジウッドの恵み…(株)日本設備工業新聞社 代表取締役社長 高倉克也 ◎[東京見て歩き(119)]上野の旧岩崎邸庭園にちなんで…(一社)スマート水道推進協会会長・(株)日本設備工業新聞社顧問 坂本弘道 ◎[特別連載]平成を偲ぶパロディ狂歌集(56)一平成一人百首 雑⑥(全7首)…弁護士 野平大魚 ◎建築着工統計[2023年9月]…国土交通省 ◎エッセイ 西村修一、新田純子

### [1月号]

◎[新春対談]水野忠雄 摂南大学 都市環境工学科 教授 北島正章 北海道大学 大学院環境工学部 准教授「下水疫学」オゾン技術「研究と社会実装」を語る水野忠雄教授が北大を訪問…水道ネットワーク通信・有村源介 ◎[シリーズ 次代を担う衛生・環境工学者 No.86] 広島県公立大学法人 啓啓大学ソーシャルシステムデザイン学部 ソーシャルシステムデザイン学科教授 下ヶ橋雅樹氏を訪ねて モデリングで環境問題の解明に取り組む 個性あふれるリベラルアーツの大学…水道ネットワーク通信・有村源介 ◎建築物リフォーム・リニューアル調査報告(概要)(令和5年度第2四半期受注分)…国土交通省 ◎令和4年度(2022年度)エネルギー需給実績を取りまとめました(速報)…経済産業省 ◎広島平和記念都市建設事業進捗状況報告書等の国会報告について…国土交通省 ◎住宅省エネ2024キャンペーンにおいて対象となる給湯器の基本要件を公表します…経済産業省 ◎温室効果ガス排出量算定・報告・公表制度に基づく令和2(2020)年度温室効果ガス排出量の集計結果を取りまとめました…経済産業省 ◎令和6年度技術検定のスケジュール等を公表しました～受検資格等の見直しを行います…国土交通省 ◎令和6年度概算要求時における環境保全経費の取りまとめについて…環境省 ◎環境省と生物多様性に配慮した緑化の推進に向けた全国初となる制度連携協定を締結しました…東京都環境局 ◎[トピックス]令和5年度中間報告 臨時理事会 青ポリ管の日本協検査実績 口径200mm以下主要三管種類で50%超える…配水用ポリエチレンパイプシステム協会 ◎「命の水」物語をお勧めします ◎公益財団法人給水工事技術振興財団理事長・岡澤和好氏 ◎[現場ルポ]TOTOパストリエイト(株)本社・佐倉工場浴室事業の主力商品であるユニットバスを製造、企画、開発、設計、製造、品質管理まで一貫生産…月刊コア編集部 ◎[明日への道標]生きがいのある仕事を一神谷美恵子 ころの旅…(株)日本設備工業新聞社 代表取締役社長 高倉克也 ◎東京見て歩き(119) 戦闘機の工場だった武蔵野中央公園…(一社)スマート水道推進協会会長・(株)日本設備工業新聞社顧問 坂本弘道 ◎[特別連載]平成を偲ぶパロディ狂歌集(57)一平成一人百首 雑⑦(全7首)…弁護士 野平大魚 ◎建築着工統計[2023年9月]…国土交通省 ◎エッセイ 西村修一、新田純子

避難所は硬く冷たい板張りの体育館に設けられていた。子供たちが走ると足音が響き、年寄りはずらそうに座っている。東日本大震災の被災地を訪れた八代亜紀は「ここに畳があれば少しは楽になれるんじゃないか」と思い立つ。そして故郷の熊本県八代市で編まれた畳1万枚を寄贈する。

昨年の暮れに亡くなった演歌の女王は16歳で上京し、銀座のクラブで歌い始める。少女の頃、父のレコードを聴いてジャズ・シンガーのジュリー・ロンドンに憧れた。しかしスターへの道のは険しく下積み生活がつづく。一念発起して出場したテレビ番組・全日本歌謡選手権で勝ち抜き、「なみだ恋」を出世作としてヒット曲を連発する。

わたしが八代亜紀を意識したのは女子刑務所を慰問したドキュメンタリーを見たときだ。公演中、彼女は舞台から暗い観客席に降り、受刑者たちと共に「雨の慕情」を歌う。「雨、雨、降れ、降れ、もっと降れ」と合唱する女性たちの熱気にわたしは圧倒された。同時に市民社会のどん底で生きる女性たちが共鳴する歌の力というものを感じた。

生前のインタビューで彼女は「私は表現者というより代弁者でありたい。自分の歌を聴いた人に『これは私の歌だ』と思ってもらえたら私が歌う意味があるような気がする」と語っている。魂の代弁者は自己の使命を自覚していた。「震災もあたりすると、人間の哀しみ、孤独、淋しさ、愛、やさしさ、そういう根源的で普遍的なメッセージを出さないといけない」。もし彼女が生きていたら、きっと能登半島で歌っているだろう。(高倉)

### 給排水・衛生・環境設備の総合誌

月刊「コア」第411号

令和6年2月10日発行 定価1,000円(税別)

発行編集人 高倉克也

印刷所 (株)日本設備工業新聞社出版事業部

発行所 〒150-0031東京都渋谷区桜丘町10-13

(野元第1ビル)(株)日本設備工業新聞社

TEL (03) 3496-4774(代)

FAX (03) 3464-1884